A　試合会場レポート

試合番号 **971**　　開催日 **2018/12/22**

平成30年度 天皇杯・皇后杯 全日本バレーボール選手権大会 男子 ファイナルラウンド

会場 ： 大田区総合体育館

観客数 ： 2,000	開始時間 ： 11:00	終了時間 ： 13:14	試合時間 ： 02:14	主審 ： 千代延　靖夫	副審 ： 村中　伸

パナソニックパンサーズ

監　督 ： 川村 慎二
コーチ ： 古田 博幸

通　算 ： － 勝　－ 敗
ﾎﾟｲﾝﾄ ： －

東レアローズ

監　督 ： 小林 敦
コーチ ： 篠田 歩

通　算 ： － 勝　－ 敗
ﾎﾟｲﾝﾄ ： －

2	25	第1セット 【 00:24 】	22	3
	31	第2セット 【 00:34 】	29	
	21	第3セット 【 00:26 】	25	
	20	第4セット 【 00:23 】	25	
	9	第5セット 【 00:15 】	15	
ポイント		【】内はセット時間		ポイント
－		（）内は交代選手		－

＜監督コメント＞

　東レの粘りやサーブに押され勝ち切ることが出来なかった。突然のアクシデントが出たが、その中でも勝ち切るチームを作り上げていきたい。
　今日の負けをしっかり受け止め、次のVリーグに向けチーム作りをしていきたい。この負けでチームにプラスになる様にしたい。
　本日もたくさんのご声援ありがとうございました。

25	大竹	白澤	第1セット	藤井	李	22
	( )	( )		( )	( )	
	福澤	クビアク		星野	アウン	
	( )	( )		(鈴木)	(渡辺)	
	山内	深津		富松	ルジェ	
	( )	(陳)		(落合)	( )	

リベロ ： 永野　　リベロ ： 井手

31	福澤	大竹	第2セット	藤井	李	29
	(久原)	( )		(伏見)	( )	
	山内	白澤		星野	アウン	
	( )	( )		(鈴木)	(渡辺)	
	深津	クビアク		富松	ルジェ	
	(陳)	( )		( )	( )	

リベロ ： 永野　　リベロ ： 井手

21	大竹	白澤	第3セット	藤井	李	25
	(新)	( )		( )	( )	
	福澤	クビアク		アウン	星野	
	( )	(久原)		(渡辺)	( )	
	山内	深津		富松	ルジェ	
	( )	(渡辺)		( )	( )	

リベロ ： 永野　　リベロ ： 井手

20	山内	福澤	第4セット	藤井	李	25
	( )	( )		(伏見)	( )	
	深津	大竹		アウン	星野	
	( )	( )		( )	(鈴木)	
	久原	白澤		富松	ルジェ	
	( )	( )		( )	( )	

リベロ ： 永野　　リベロ ： 井手

9	福澤	大竹	第5セット	藤井	李	15
	(陳)	(新)		( )	( )	
	山内	白澤		アウン	星野	
	( )	( )		( )	(鈴木)	
	深津	久原		富松	ルジェ	
	(渡辺)	( )		( )	( )	

リベロ ： 永野　　リベロ ： 井手

＜監督コメント＞

　運も味方したが、取るべきポイントをしっかり積み重ねる事でリズムをつくれた。
　ただパスやトスの部分での精度を欠いた場面も見られたので、明日の決勝戦までに修正を図りたいと思う。
　本日も沢山の応援ありがとうございました。

＜要約レポート＞

　熱気あふれる会場の中、男子準決勝は東レアローズとパナソニックパンサーズとの一戦。
　第１セット、パナソニック・クビアクと東レ・ルジェのスパイクが冴え一進一退のスタートとなった。パナソニックは深津が大竹、山内を上手く使い、東レのブロックを絞らせず点数を重ね、このセットを奪う。
　第２セット、東レ・李、アウンが点数を重ねリード、しかしパナソニックはクビアクの攻守の活躍で逆転し、大竹のサーブポイントでセットを連取する。
　第３セット、パナソニックは、白澤が連続スパイクポイント、山内のブロックポイントで流れを掴むが、クビアクの故障交代から、徐々に東レ・藤井のトスにもリズムが戻り、アウンの小気味よい攻撃が決まり出しセットを奪い返す。
　第４セット、東レ・ルジェの気迫溢れるスパイクで応戦、中盤まで両チームの全員レシーブから両者譲らぬ展開が続く中、東レ・富松のブロック決まりファイナルセットに持ち込む。
　第５セット、東レが最後まで、リベロ井手の好レシーブ、アウンの攻守の活躍で流れを掴み全員バレーは崩れることなく、最後もアウンのサーブポイントで勝利を掴んだ。

作成者 ： 中嶋　幹朗

※本票の著作権は、公益財団法人日本バレーボール協会に帰属します。